

2023年度 環境経営レポート

対象期間 2023年4月～2024年3月

発行日 2024年6月30日

新相武株式会社

組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

新相武株式会社 代表取締役 関戸朝一

2) 所在地

〒243-0301 神奈川県愛甲郡愛川町角田274-1

3) 環境管理者(担当者)氏名及び連絡先

柴山 勇人 Tel: 046-286-0303

4) 事業の概要

EA21対象事業

・自動車の整備点検、修理、新車及び中古車の販売、レンタカーサービス、保険代理販売

5) 事業の規模

活動規模	単 位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上	100万円	2844	2913	2951	3029
従業員	人	22	22	20	20
事務所延べ床面積	m2	716.33	716.33	716.33	716.33
中古車展示場面積	m2	713.79	713.79	713.79	713.79

会計年度: 4月/3月

6) その他情報

設立年月日

昭和60年4月1日

資本金

3000万円

組織図

別紙(環境管理実施体制図)参照

ア 許可の内容(許可番号、許可年月日、許可の有効期限、事業概要、事業の範囲)

許可番号	許可年月日	許可の有効期限	対象事業
認証番号 2-3649	昭和47年11月25日	無期限	自動車分解整備事業
指定番号 2-1018	平成1年3月4日	無期限	指定自動車整備事業

イ 主な施設等の状況

天井走行クレーン 2基

カーリフト(3.2t) 5基

ウ 主な車両等の状況

・乗用車 2台

・軽乗用車 4台

・貨物自動車 2t、0.85t 各1台

・軽貨物自動車 トラック、バン 各1台

・その他 冷蔵冷凍車(軽自動車) 2台

対象範囲(認証・登録範囲)

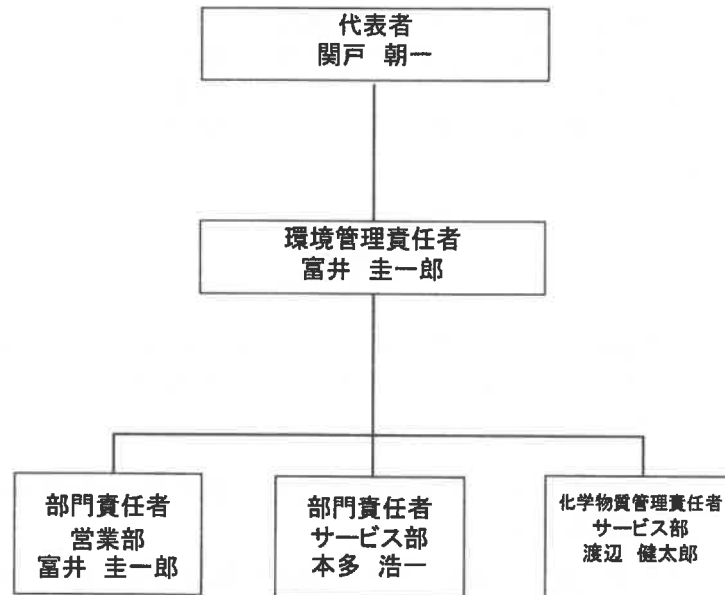
・EA21対象事業所: 本社、営業所(工場)

・所在地: 神奈川県愛甲郡愛川町角田274-1

環境管理実施体制表

作成 2021年10月1日

承認	作成
富井	富井



役職	責任および権限
代表取締役社長	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 効果的で必要十分な実施体制の構築 4. 役割、責任、権限を定め、全従業員に周知 5. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 6. 環境経営システムの定期的見直しの実施 7. 社内情報の外部公開可否決定 8. 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 諮問機関である環境委員会の委員長として委員会の運営 4. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 5. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施 6. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 7. 環境関連文書及び記録の作成・整理 8. マニフェスト原本の管理
部門責任者	1. 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善 2. 環境上の緊急事態への準備及び対応
マニフェスト報告担当者	1. 産廃管理票の交付報告書を作成し、毎年報告する。

(回覧ルート)

社長→部門責任者、環境管理責任者

改版履歴

版数	改定理由	改定月日	承認	作成者
第2版	中古車展示場を閉鎖したため、体制図から削除した	2015/4/1	富井	柴山
第3版	エコアクション21ガイドライン 2017年版に対応	2019/3/1	富井	柴山

環境経営方針

[理念]

当社は、自動車販売、自動車整備、レンタカー事業などを行う企業として、地球環境の保全及び環境負荷の削減が人類共通の責務であることを認識し、良き企業市民として、より良い環境の創造に向けた活動に積極的に取り組むことによって社会的責任を果たしてまいります。また、環境に配慮した企業活動を通じ、持続可能な社会の実現に資する環境保全活動を可能な限り支援してまいります。

[方針]

- 1) 事業活動に於いて、環境に与える影響を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目標を定め、設定した管理プログラムを実行すると共に、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。
- 2) 環境保全に関する法規制及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守することを誓約し、一層の環境保全に取り組みます。
- 3) 保全活動を推進するため、全ての組織及び従業員が活動できる環境管理組織を整備します。
- 4) 事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進します。
 - ① 二酸化炭素の排出削減
事業活動における電力をはじめとする諸エネルギーの使用を削減し、二酸化炭素の排出削減に努めます。
 - ② 廃棄物の削減
資源の有効利用と廃材の再資源化を図り、廃棄物を削減します。
 - ③ 節水活動
水の使用を出来る限り抑え、排水量を削減します。
 - ④ 化学物質の適正管理を行います。
 - ⑤ 調達資材のグリーン購入を積極的行います。
 - ⑥ 自らの事業活動における環境配慮に努めると共に、お客様に環境配慮の活動(エコ運転の推進)を提案します。
- 5) 環境教育を実施し全社員が環境方針の遂行に当たり環境に関する意識向上を図ります。

令和2年3月1日
新相武株式会社
代表取締役 関戸 朝一

環境経営目標 2021年度～2023年度

作成日： 2021年5月19日

承認	作成者
富井	柴山

目 的		単位	基準年 2020年度 20年4月～21年3月	目 標		
				2021年度 21年4月～22年3月	2022年度 22年4月～23年3月	2023年度 23年4月～24年3月
				基準値の1%減	基準値の2%減	基準値の3%減
排出量の削減 二酸化炭素	1 電気使用量の削減	kWh	9,515	9,420	9,325	9,230
		(kg-CO ₂)	4,396	4,352	4,308	4,264
	2 ガソリン使用量の削減	L	13,597	13,461	13,325	13,189
		(kg-CO ₂)	31,545	31,230	30,914	30,599
	3 軽油使用量の削減	L	8,400	8,316	8,232	8,148
		(kg-CO ₂)	21,672	21,455	21,239	21,022
	4 二酸化炭素総排出量の削減 (電気、ガソリン、軽油起因)	(kg-CO ₂)	57,613	57,037	56,461	55,885
廃棄物の削減 排出量	5 一般廃棄物 (古紙)リサイクル率	注2	100%	100%	100%	100%
	6 産業廃棄物 (廃油)リサイクル率	注2	100%	100%	100%	100%
	7 リサイクル率の向上	注3	100%	100%	100%	100%
資源の投入	8 コピー用紙の削減	kg	200	198	196	194
	9 水の使用量の削減	m ³	497	492	487	482
	10 化学物質	当社で使用しているのは塗料中のシンナー、クーラント中のエチレングリコールだけで、かつ使用量もすくないので「適正管理」とした		適正管理	適正管理	適正管理
	11 製品及びサービスに関する環境配慮					
	・事業所周辺の清掃	回/週	1	1	1	1
	リサイクル率100%維持		100%	100%	100%	100%

注1 排出係数 電力:0.462 kg-CO₂/kWh (東京電力2017年)
ガソリン:34.6 MJ/L x 0.0183kg C/Mj x 44/12=2.32kgCO₂/L
軽油:37.7MJ/L x 0.0187 kg C/Mj x 44/12=2.58kg/L

注2 リサイクル率100%維持、数量の適正管理

注3 対象:金属くず(kg)、廃プラ(kg)、廃油(L)、バッテリー(ヶ)、タイヤ(本)、クーラント(L)

環境経営計画

・2023年度の活動内容は下記のようなものであった。

項目	施策
電力の削減	・昼休み消灯 ・事務作業の効率向上 ・省電力の意識の再徹底
ガソリン、軽油の削減	・燃費向上運転の励行
一般廃棄物の削減	・古紙分別(再資源化) (白紙、ミックス紙、シュレッダー)
産業廃棄物の削減	・産業廃棄物の分別(再資源化) ・産業廃棄物の適正管理
資源投入量の削減	・裏紙の使用徹底 ・ペーパーレスの推進 ・プレビュー機能を使用し、印刷ミスを減らす
水使用量の削減	・節水蛇口設置
製品及びサービスに関する環境配慮	・事務所、営業所周辺の清掃 ・リサイクル率100%の維持

・2023年度の環境経営計画

項目	施策
電力の削減	・昼休み消灯 ・事務作業の効率向上 ・省電力の意識の再徹底
ガソリン、軽油の削減	・燃費向上運転の励行
一般廃棄物の削減	・古紙分別(再資源化) (白紙、ミックス紙、シュレッダー)
産業廃棄物の削減	・産業廃棄物の分別(再資源化) ・産業廃棄物の適正管理
資源投入量の削減	・裏紙の使用徹底 ・ペーパーレスの推進 ・プレビュー機能を使用し、印刷ミスを減らす
水使用量の削減	・節水蛇口設置
製品及びサービスに関する環境配慮	・事務所、営業所周辺の清掃 ・リサイクル率100%の維持

2023年度 環境経営活動評価書(環境経営目標の実績)

(環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容)

承認	作成
富井	富井
日付	2024年10月3日

推 進 項 目	今年度の活動期間目標	実績	評価	未達原因・達成理由	改善施策(次年度の取組内容) 是正・予防処置
電気使用量削減 (二酸化炭素発生量の削減)	9230 kWh (4264kg-CO ₂)	9617 kWh (4443kg-CO ₂)	×	エアコンの温度管理など徹底出来ていなかった	換気は必要だがこまめに設定温度を調節して温度管理を徹底する。
ガソリン使用量削減 (二酸化炭素発生量の削減)	13189 L (30620kg-CO ₂)	11611 L (26956kg-CO ₂)	○	中古車(ガソリン車)の仕入れ減	最小限の給油を意識した
軽油使用量削減 (二酸化炭素発生量の削減)	8148 L (21239kg-CO ₂)	8838L (22845kg-CO ₂)	×	在庫(トラック)の増加	在庫の給油を減らす。今後もエコ運転を心掛ける。
二酸化炭素総排出量の削減 (電気、ガソリン、軽油起因)	55885 kg-CO ₂	54244 kg-CO ₂ 注2	○	コロナ過による換気 中古車の仕入れ減	・最小限の給油を意識する ・省電力の意識の再徹底
一般廃棄物 (古紙)	100% 適正管理	適正管理実施 (1420 kg)	○	紙の無駄使いをしないように注意した	今後も適正に管理する。
産業廃棄物 (廃油)	100% 適正管理	適正管理実施 (5355kg)	○	適正管理に努めた(リサイクル率100%を目指した)	今後も適正に管理する。
資源投入量の削減 (コピー用紙)	194kg	200 kg	×	入庫台数が増えたため、事務量が 増え、使用量が増えたと思わ れる。	・裏紙使用の徹底 ・コピー機使用時の適正化 ・目標の見直しを検討する。
上水使用量削減	482m3	580 m3	×	洗車台数の増加	洗車時の節水の徹底
グリーン購入	10品目	10品目購入実施	○	事務消耗品の購入のタイミング とうまく合った	段階的に品目数を増やしていく
化学物質	適正管理	適正管理実施 (68.04kg)	○	当社で使用しているのは塗料中のシ ナーとクーラント中のエチレングリコールだけで、 使用量も少ないので「適正管理」とした	今後も継続していく。
製品及びサービスに 関する環境配慮	事業所周辺の清掃(週1回)	雨天時以外実施でき た。	○	始業前の10分間程度だが、皆の協力を得 ることができた。	今後も継続していく。
	リサイクル率100%の維持	適正管理実施	○	適正に管理ができた	今後も継続していく。

注1 排出係数 電力:0.462 kg-CO₂/kWh(東京電力2017年)
ガソリン:34.6 MJ/L x 0.0183kg C/Mj x 44/12=2.32kgCO₂/L
軽油:37.7MJ/L x 0.0187 kg C/Mj x 44/12=2.58kg/L

注2 二酸化炭素発生量 上記表中で示したのは、目標として取り上げた、電力、ガソリン、軽油からの発生量だけで、この他に灯油からの1494kgCO₂の発生がある。

環境経営目標 2024年度～2026年度

作成日：2024年4月19日

承認	作成者
富井	柴山

目 的		単位	基準年 2023年度 23年4月～24年3月	目 標		
				2024年度 21年4月～22年3月	2025年度 22年4月～23年3月	2026年度 23年4月～24年3月
				基準値の1%減	基準値の2%減	基準値の3%減
排出量の削減 二酸化炭素	1 電気使用量の削減	kWh	9,230	9,138	9,045	8,953
		(kg-CO ₂)	4,264	4,221	4,179	4,136
	2 ガソリン使用量の削減	L	13,189	13,057	12,925	12,793
		(kg-CO ₂)	29,681	29,384	29,087	28,791
	3 軽油使用量の削減	L	8,148	8,067	7,985	7,904
		(kg-CO ₂)	20,391	20,187	19,983	19,779
	4 二酸化炭素総排出量の削減 (電気、ガソリン、軽油起因)	(kg-CO ₂)	54,208	53,793	53,249	52,706
廃棄物の削減	5 一般廃棄物（古紙）リサイクル率	注2	100%	100%	100%	100%
	6 産業廃棄物（廃油）リサイクル率	注2	100%	100%	100%	100%
	7 リサイクル率の向上	注3	100%	100%	100%	100%
資源の投入	8 コピー用紙の削減	kg	194	192	190	188
	9 水の使用量の削減	m ³	482	477	472	468
	10 化学物質	当社で使用しているのは塗料中のシンナー、クーラント中のエチレングリコールだけで、かつ使用量もすくないので「適正管理」とした		適正管理	適正管理	適正管理
	11 製品及びサービスに関する環境配慮					
	・事業所周辺の清掃	回/週	1	1	1	1
	リサイクル率100%維持		100%	100%	100%	100%

注1 排出係数 電力:0.462 kg-CO₂/kWh (東京電力2017年)
ガソリン:34.6 MJ/L x 0.0183kg C/MJ x 44/12=2.32kgCO₂/L
軽油:37.7MJ/L x 0.0187 kg C/MJ x 44/12=2.58kg/L

注2 リサイクル率100%維持、数量の適正管理

注3 対象:金属くず(kg)、廃プラ(kg)、廃油(L)、バッテリー(ヶ)、タイヤ(本)、クーラント(L)

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

内 容	過去3年から現在までの結果
遵守状況の確認及び評価結果 法律違反の有無	令和5年(2023年)4月1日 環境関連法規等の取りまとめ一覧をもとに自ら遵守状況のチェックをした結果、要求事項が確実に守られ、過去3年間違反はありません。
訴訟の有無	なし

該当する環境関連法規を下記に示す。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律:法3条、6条の2、12条、12条の3、16条
騒音規制法:法2条、4条、6条
振動規制法:法2条、6条、12条
下水道法:法12条、12条の2、12条の9、12条の12
水質汚濁防止法:施工令別表第1 70の2、法3条の3、5条則3項、14条の2
フロン排出抑制法:法2条、19条、38条
消防法:法8条、9条の2、9条の3、9条の4、10条、11条、13条、17条
自動車リサイクル法:法9条、11条、15条、17条
グリーン購入法:法5条
高圧ガス保安法:法5条1
浄化槽法:法10条
神奈川県生活環境の保全等に関する条例:第3条1～3項、別表第1、第6条1項、第12条、第16条、第25条、第30条、第32条、第39条、第43条、第45条、第73条、第86条の2、第119～124条
PRTR法: 第4条6項
有機溶剤中毒予防規則:
毒劇物法:11条
愛川町火災予防条例

代表者による全体の取組状況の評価と見直しの結果

配布先	代表者による見直し 結果報告書	
		令和6年8月26日
		新相武株式会社 代表取締役 関戸 朝一
見直し対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
見直し実施月日	令和6年8月26日 (定期)	
出席者	代表取締役 関戸朝一、環境管理責任者 柴山勇人、	
提出資料名	1) 環境経営方針 2) 環境経営目標、環境経営活動計画 3) 2023年度 環境経営活動評価書 4) 環境経営レポート	
見直し結果 (総 評)	車両販売台数、在庫台数、整備入庫台数、板金台数、すべての台数がふえている中での目標達成は難しいと思うが皆で削減の意識を持ってほしい。 「環境経営方針」「環境経営目標」「環境経営計画」「実施体制」変更の必要性はない	